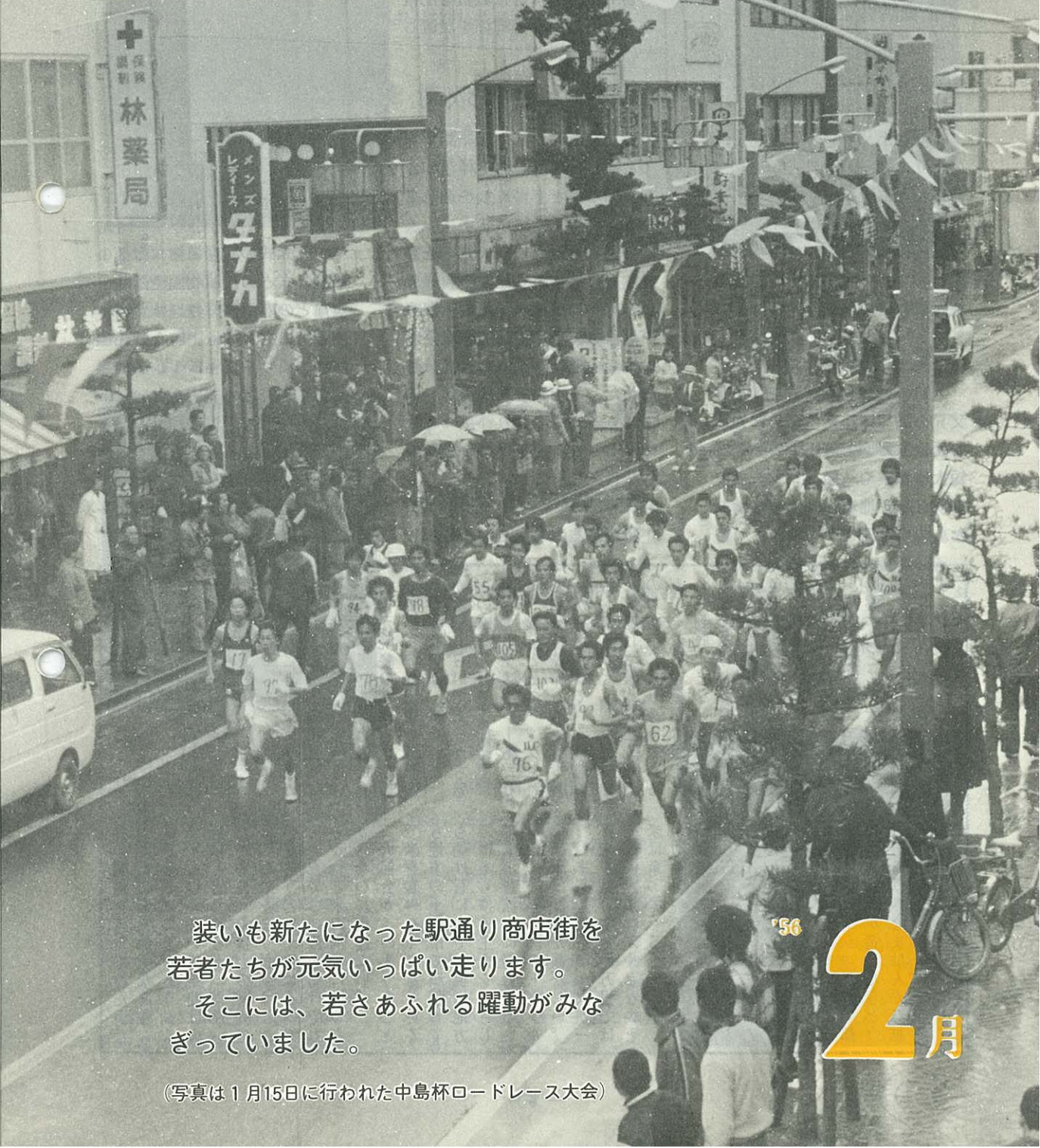


広報 いまり

昭和29年8月19日
第3種郵便物認可

毎月1日発行 定価1部24円 昭和56年2月1日 伊万里市役所総務部秘書課発行 No.324



装いも新たになった駅通り商店街を
若者たちが元気いっぱい走ります。

そこには、若さあふれる躍動がみな
ぎっていました。

(写真は1月15日に行われた中島杯ロードレース大会)

'56

2月

自立自治をめざす

竹内市長 執務初めで訓示

企業誘致にプロゼクト

自分を改める「自己改善」を図ることが必要で、今年は自立自治元年の年にしたい。

これを進めるには、先ず財源の自立方策を行うことが大切であるので、企業誘致について思い切った大型プロジェクトとの取り組みに踏み切り、伊万里湾におけるエネルギーの分担を行う決意でいます。

短大誘致に努力

人口の増加と購買力を増やし父兄の願望に応えるために短大を誘致したいと考えています。短大は窯業や造船、コンピューターなど、地域の特性をもたせたものを導入させたい。

誘致推進には専任職員を配置するために特命推進係を設置して行います。

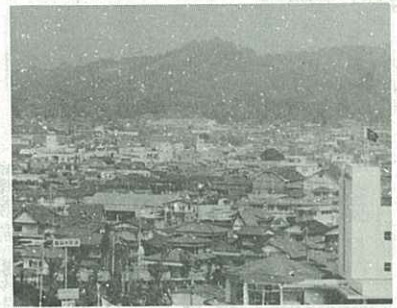
特色ある郷土づくり

郷土をあらためて広く深く見詰め直し、特色のある「手づくりのふるさと」づくりを進めていきたいと考えています。

特色のある真によいものを発見するために、◇歴史の再発見 ◇未来への展望、◇産業・観光の見直し、◇中核都市施設整備 ◇社会総健康運動など、各分野にわたって市民と市職員が一体となり英知をしばり「手づくりのふるさと」を築いていきたい。

名所施設づくりを進める

特色あるふるさとづくりとし



て、成人式の記念植樹などを1か所にまとめた植物園や腰岳中腹などの花園づくり、また、市内各町に対しては1町1特化農産物づくりや1年に1か所の名所づくりを進めていきたい。

特色づくりの目標は財源を増やし人を集める方策を図ることであり、伊万里を浮揚させることです。市民みんなで知恵をしばってがんばりましょう。

驚いたことに東京都内の二〇パーセントの世帯が、「まないた」を持っていない。そうである。一体どんな食べ物か晩餐の食卓をにぎわせているのか田舎では想像もつかないが「まないた」がないくらいであるから殆どの家庭では手を加えずにデザートやスーパーパーティで一食分としてパックされたおかずやインスタント食品が利用されているに違いない。

東京はさすがにどんなものでも手に入りそうであるが、それでも種類は限定され、到底「まないた」によるほどのわが家の特色はなく、ただ種類選択だけの特色で、同じものを選択した家庭では同じ味に画一化されることになる。

このことも考えてゆけば影響するところ大であると思われるが、いまは米消費の緊急な課題をかかえているので「まないた」と米消費の関係を考えてみたい。ただご飯を炊くだけなら電気釜やガス釜がありタイマーもついていて手間はいらぬと思われるが「まないた」を使わぬほどの家庭では、お米を洗う面倒はしないだろうと考えられるのできたてのご飯を届けられないと米の消費にはつながらないに相違ない。

大都会がこのようなことで米を食べなくなるといって地方の小都市で頑張っても焼け石に水で、現に地方ではあらゆる工夫をこらして米消費拡大に努力しているのに一年の国のトータルでは米ばなれが甚だしい。いまもし東京で一人が一杯米を減らすと伊万里では一人一六六杯ふやさないと米は余ってくる。



(竹)

元気にはばたく20歳

今年は、805人の方が晴れやかに成人式を迎えました。この中から、明日へ向って元気いっぱいにはばたく若者3名の姿を追い、将来などについて語ってもらいました。

伝統産業に意欲を燃やす

田中 信浩さん (南波多町)

田中さんは、農業後継者として手すき和紙（唐津藩紙・美濃紙）づくりと梨（1ヘクタール）の栽培に取り組んでいます。

和紙づくりはたいへんな手間と高度な経験技術を要し、原料が少なく外国から輸入しなければならぬことから、最盛期に

は280軒あった和紙づくりは衰退をたどり、今ではわずか5軒だけで、伝統産業として市の重要文化財指定を受けています。

田中さんは「子供の時から手伝いをしてきたので何とか出来

るが、まだ経験未熟なのでがんばっています。民芸・工芸紙として品質向上に努めたい」と意欲を燃やしておられました。



笑顔忘れず真心をもって

溝江 富美子さん (松浦町)

いらっしゃいませ。ありがとうございます。——いつも笑顔で応対する溝江さんは伊万里玉屋のエレベーターガールで、みんなから「ふみちゃん」の愛称で呼ばれ可愛いがられています。

20歳になって感じたことは、「これからは社会的にも責任が重くなりました。一日一日を大

切に生きたい」ということで、「笑顔忘れず真心をもって親切にをモットーに仕事に励みます」と話しておられました。

同僚の多久島洋子さんは「ふみちゃんは人とのつながりや心のふれあいを大切に作る心のやさしい方です」と、ベタほめしていました。

自分自身を厳しく鍛える

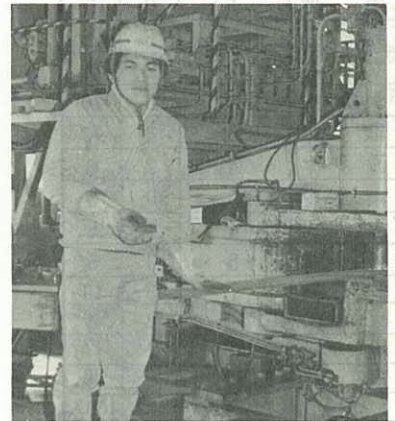
長野 豊さん (黒川町)

長野さんは、名村造船で船づくりに励んでおられます。

入社は昨年で、まだ日が浅いために技術的にも未熟なので、「先輩達の指導を受け、一日も早く一人前になるようがんばっています」とのことです。

職場は人間関係もよく、この仕事は自分に与えられた最良の

ものだと思っており、誇りをもって一生の仕事として働く覚悟でいるとのこと、また、20歳を迎え「これからは自分の行動に責任をもって人に迷惑をかけない、人のためになるよう自分自身を厳しく鍛え、何事にも精一杯ぶつかっていきます」と力強く語ってくれました。



国見台に憩いの森が完成



国見台公園にこのほど「市民の憩いの森」が完成しました。

これは工業再配置促進事業として、2,130万円をかけて建設したもので、国見台のテニスコートと陸上競技場に隣接地の空き地3,500㎡に、スベリ台や丸太の段ちがい、休憩所などを設置しています。

憩いの森には盛り土をして芝生を植え込み、クスやホルト、イヌマキなどの植木30本を植え

さらに園内の遊歩道の両側にはマメツゲ300本、生垣にはベニカナメモチの木など300本を植え、庭園風に造られています。

国見台には、陸上競技場、野球場、球技場、テニスコート、プール、体育館、武道場、トリムコースなどがあり、憩いの森の完成により、市民スポーツの場として、さらにやすらぎの場として充実しました。

市の人口

1月1日現在

総人口 61,401人 (+102)
 男 29,132人 (+47)
 女 32,269人 (+55)
 世帯数 16,762 (+28)
 市民課調べ、()は前月比



12月

貿易実績は6億5,939万円
 で前月比6億1,467万円の減。

【輸出】 実績なし

【輸入】 6億5,939万円

【般船の入港】 16隻

(日本船3、外国船13)

【寄港地上陸許可者数】

398人(フィリピン225人
 中国74人、ベトナム36人、
 インドネシア28人、韓国24
 人、英国8人、マレーシア
 2人、ビルマ1人)

地区別飲酒運転検挙者数

(昭和55.12.31現在 伊万里警察署調)

地区名	1月~11月	12月	累計
伊万里	5	1	6
大坪	5	0	5
牧島	14	6	20
立花	9	2	11
大川内	7	3	10
黒川	8	4	12
波多津	4	2	6
南波多	5	0	5
大川	4	1	5
松浦	5	0	5
二里	7	3	10
東山代	8	2	10
山代	15	2	17
市外	33	5	38
計	129人	31人	160人

もぐら打ちで豊作を願う

子供たちの伝統行事

—「14日もぐら打ち。ちょうし出すか、もち出すか。出さんと嫁さんの尻たたく」—

子供たちの元気な声が聞こえてきます。1月14日の暮れ、手に手にもぐら打ちの棒を持った子供たちが新婚の家々を巡り、先にわらたばをつけた棒で庭先を打って回ります。

このもぐら打ちの行事は田畑をもぐらに荒らされないようにということから、農作物の豊作や、子宝に恵まれ家が繁盛しますようにという願いが込められ



▲もぐら打ちの伝統行事(大川町戸石川)

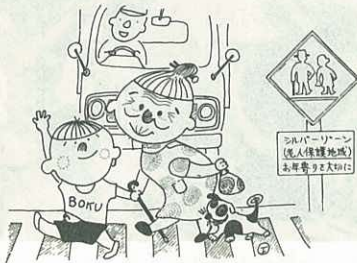
ているようです。

一時はすたれかけていた子供たちの伝統行事が、ふるさとを見直す運動によって市内の各地に復活してきたことは喜ばしいことです。

老人を交通事故から守りましょう

シルバーゾーン(老人保護地域)を設定

お年寄りが自動車などの危険にさらされることなく、安心して通行できるように、このほどシルバーゾーン(老人保護地域)の設定が行われました。



これは、交通事故による老人の犠牲者が全体の大きな割合を占めることから、市や警察などが協議して設置したもので、老人福祉センターや憩いの家、ゲートボール場など老人が利用される施設を中心に半径約500mの範囲で必要な箇所に標識や道路標示をしてドライバーに注意を呼びかけるものです。

今回指定されたのは市老人福祉センターを中心とした地域ですが、このシルバーゾーンの中では一方通行や路側帯での駐・停車禁止、低速走行などの交通規制が行われますので、通行されるドライバーの方はじゅうぶんに注意してください。

市民健康展を開催

- ▲期 日 2月7日・8日
- ▲時 間 10時～16時
- ▲場 所 大坪公民館
- ▲主 催 市・市教育委員会

2月の市民会館行事予定

- 毎週金曜日 9時～15時
運転免許証更新時講習会
- 7日(土) 18時～21時
予餞会(伊万里商業定時制)
- 8日(日) 9時～12時
子供映画会(鈴映画社)
- 17日(火) 9時～15時
高圧受電技術講習会(九州電気保安協会佐賀支部)
- 26日(木) 9時～17時
福祉大会(社会福祉協議会)
- 28日(土) 13時～22時
京都フィルハーモニー室内合奏団演奏会(子ども劇場)

税金の申告はお早めに

所得税2月16日～3月16日

市県民税3月1日～3月16日

昭和55年分の所得税や贈与税市県民税などの申告受け付けが始まります。

期間間近かになりますと、税務署などの受け付け窓口は大変混雑し、落ち着いて相談できなかつたり、長い時間待たなければならぬ事になりますので、申告に必要な書類などは早めに準備し、余裕をもって申告を済ませるようにしましょう。

[申告受け付け期間]

- ▲贈与税の申告と納税
2月2日～3月16日
- ▲所得税の申告と納税
2月16日～3月16日

市民相談のご案内

お気軽にご利用を

市では、次のような定例相談日を設けて各種の相談業務を行っています。お気軽にご利用ください。

▲相談内容

- 市政に対する相談(毎日)
 - 社会保険相談(毎週金曜日)
 - 法律相談(毎月第3木曜日)
 - 内職相談(毎週水曜日)
 - 交通事故相談(毎月第2、第4火曜日)
 - 高齢者職業相談(土曜を除く毎日)
 - 特設人権相談(第3火曜日)
 - 消費生活相談(毎週月曜日)
- ▲場 所 市役所市民相談室
▲時 間 市政に対する相談は8時30分～17時。他は10時～15時。

▲市県民税の申告

3月1日～3月16日
(各町での受け付け日程は2月15日号でお知らせします)

詳しくは税務署(☎③3147)か市役所税務課市民税係(☎③2111、内線232)へお問い合わせください。

所得税の確定申告は
2月16日→3月16日

申告の相談は……税務署・市役所・町村役場で……



あなたと 考える

やきものとフルーツの里——これは私たちが住むふるさとの顔です。歴史と自然に恵まれた「ふるさとの顔」は私たちの貴重な財産であり観光資源なのです。その資源も、自然や歴史への回帰を求める人々の意識の変化により、観光形態に影響を与えてきています。

ふるさとの観光を見つめ直し、どうあるべきかを皆さんといっしょに考えてみましょう。

特色ある観光づくり

北九州市を起点に長崎市までの西九州国際観光ルートの中点にある伊万里市は「秘窯の里」、大川内山に300年の歴史を誇る伊万里焼の窯元が軒を並べ、一方農村地帯では梨やブドウ、みかんの産地として観光農業に力を注いでいます。また、玄海国定公園の桜の名所「高尾山公園」や高原いっばいにつつじが咲く「竹の古場公園」、草スキーと展望がすばらしい「大平山公園」があり、訪れる人々の心をなごませてくれています。

歴史と自然に恵まれた「やきものとフルーツの里」は、ふる



さとの顔であり、貴重な観光資源ですが、はたして対外的に魅力ある顔づくりとなっているでしょうか。西九州国際観光ルートの通過地として素通りされることなく、観光客を長時間とめられるような足ども観光の整備を行う必要に迫られています。

そのためには、やきものの歴

史的資料などを集めた伊万里津歴史公園や鍋島藩窯資料館の建設、山ノ寺遺跡、恵まれた自然の景観とフルーツ、秋祭り、休暇センターなどを有機的に結びつけて特色を生かした観光地づくりを図る、自然志向、歴史志向、文化志向に対応した観光開発を進めていく必要があります。

手づくりのふるさと

市民の英知で築こう

すぐれた価値を持ちながら利用されていない観光資源が、まだ伊万里には多く存在しています。時代と共に忘れられた歴史遺産や行事など、身の回りには意識して見つめ直すすと発見することが出来るものがあります。

竹内市長は、今年は郷土伊万里をあらためて広く深く見つめ直し、そこから特色のある真によいものを発見して「手づくりのふるさと」をつくりたいと所

信を述べています。既成の観光資源のみにとらわれていては遅れをとるばかりで、観念を転換すればどこにでも観光資源はあり、これからはそのような資源の開発に取り組むことが必要で、1年に1か所の名所づくりや各町に特化農産物づくりを進めるための呼びかけをしています。

市民の英知で魅力ある手づくりのふるさとを築きましょう。



光を見つめる

キャンペーン
シリーズNo.29

やきものとフルーツの里

だんじりから打ち出す太鼓の音とともに壮烈な合戦を繰り広げるトンテントン。そして無限の美をつくりあげる伊万里焼などの観光資源は、訪れる人の心を引きつけ和ませてくれています。

この私たちのふるさとの観光を更に魅力あるものにするにはどうしたらよいか、今一度ふるさとを見つめ直してみましょう。

歴史的遺産の保存を

川久保健児さん(山代町久原)



西九州国際観光ルートの中核観光都市として伊万里は脚光を浴びていますが、その反面、白壁土蔵や古くから伝わってきた行事などの歴史的遺産が少なくなりつつあることは残念です。

伊万里の特色は自然と歴史がいっぱいあるところに魅力があり、観光資源として注目を受けるものだと考えます。

その方策として歴史遺産の保存が大切ですが、現状では近代化の波に押しつぶされ消滅して

いくばかりですので、それらをまとめた歴史公園などを作っていくことが必要だと思います。

史跡と陶磁器の町として観光資源の開発を行うことは、個性あるふるさとづくりに通じるもので、観光地としての確立をはかるものだと思えます。

伊万里津歴史公園の実現に期待

池永寿子さん(脇田町)



ふるさとは自然に恵まれ、とてもすばらしいところです。

でも、やきものとフルーツの里として伊万里市外の人を引きつけるには、いまひとつ観光資源に乏しいのではないのでしょうか。伊万里の個性ある観光資源の開発として何か核になるものを作ってほしいと思います。

そのためには観光の拠点となる伊万里津歴史公園の建設を1

ふるさとの観光

- 大平山公園(玄海国定公園)
- 高尾山公園
- 竹の古場公園
- 松浦党発祥の地「山」寺、
- 国見スカイライン
- トラピスト修道院
- 陶工墓塔
- 伊万里・有田焼伝統産業会館
- 大川内山キャンプ場(7/15-9/5)
- 椎の峰窯跡
- フルーツ狩り(南波多)
- 伊万里神社・菓祖中島神社
- 万明山円通寺
- 国見台公園、腰岳、大野岳
- ◆まつり◆
- ◇大川内山窯元市(4月1日~5)
- ◇フルーツとやきものまつり(8月20日~9月30日)
- ◇伊万里秋祭り(トンテントン)(10月22日~24日)



ありがとう あなたの善意

心あたたまる町の話

～その25～

若者たちがゴミ拾い

明るい町づくりに励む牧島町青年団

地域社会に根ざした奉仕活動を合言葉に、若者たちが道路沿いに捨てられたゴミを拾い集めています。

この若者たちは、牧島町青年団（松尾正勝団長＝45人）の皆さんで、4年前から国道204号沿いの木須から築港までの道路に散乱している空カンなどのゴミを集めているものです。

ゴミ拾いは毎月2回、日曜日の朝早く、肥料袋などのゴミ袋を持って拾っていますが、毎回5～6袋のゴミが集まるとのことです。

拾っても拾ってもゴミが減らないため「車からの投げ捨てなどはやめましょう」「ゴミはクズカゴに」と標示したクズ入れを街頭に置くなど「ノーポイ運動」を呼びかけています。団長

の松尾さんは、「明るい町づくりはみんなの願いです。いくらかでも地域社会のお役に立てばとがんばっています」と話しておられました。



▲沿道のゴミ拾いをする牧島町青年団の皆さん

廃物利用のクズカゴを設置

環境美化に励む松浦町生活学校

資源の見直しと環境の美化をめざして、廃物利用の手づくりクズカゴを沿道や街角に設置するなど、明るい町づくりを推進しているグループがあります。

このグループは、松浦町生活学校（早田早苗委員長＝57人）の皆さんで、ゴミのない明るい町づくりをと町内の道路沿い50か所に、不要になった荷造り用ビニールバンドを利用した手づくりのクズカゴ

を設置しているものです。

松浦町では婦人会が道路清掃を毎月実施していますが、散乱するゴミは後を絶たないため生活学校ではゴミの処理についての環境美化対話集会を行い検討していましたが、ゴミ入れがないために捨てられるのではと廃材の再利用でクズカゴを作り始めたとのことでした。

委員長の早田さんは「クズカゴを設置したことで、ゴミをカゴの中に入れるという習慣が付き、これまで沿道に散乱していた空カンなどのゴミはなくなりました。これからも資源見直しと環境美化に励み、美しい町づくりを推進していきます」と話しておられました。



▲手づくりのクズカゴを設置する生活学校の皆さん



▲成人式に805人の若人が集う(1/15)

今年成人式を迎えたのは男 366人、女 439人で、会場の市民会館は終始はなやかな雰囲気があったよっていました。



▲無病息災を願い市内各地で鬼火たき

1月7日、早朝、子供たちが持ち寄った青竹や正月のしめ飾りを燃やして1年間の無病息災を祈りました。(松浦町宿分で)

いま伊万里で



◀伊万里・有田焼の新作展示会を開催(1/9)10
伊万里・有田焼の窯元が今年の新作を一
堂に集め、市農協会館で展示会を行いました。



▲交通安全指導員が安全祈願(1/11)

市民の交通事故防止に尽力されている34人の指導員さんが、伊万里神社で今年1年の無事故を祈願しました。



▲極寒の中で消防出初め式(1/11)

県内でも有数の組織と設備を誇る市消防団の精鋭968人と車両49台が堂々の出初め式を行いました。



◀中国造船研修生の送別会(1/23)
造船技術の研修と日中友好の親善使節として来日された3名の研修生が6か月間の研修を終え、終了証書の授与と送別会が行われました。

まちの家計簿

昭和55年度 上半期の収支状況

昭和55年度上半期（4月～9月）の予算現額は、一般会計 126億 392万円、特別会計28億499万円で、54年度の同期に比べると一般会計で1億8,689万円の減額、特別会計では1億4,764万円の増額となっています。

9月末までに執行した予算のあらまきは、次のとおりです。

一般会計

＝歳入＝

収納率 39.4%

予算現額126億392万円のうち、市税などの自主財源は33億6,970万円（26.7%）で、地方交付税や国および県支出金などの依存財源が92億3,422万円と

73.3%を占めています。

これは、国や県の資金などを十分に活用した財政運営がなされているものといえます。

昭和55年度の上半期（4月～9月）までの収入済額は、49億6,598万円で歳入全体の39.4%となっています。

その主なものは、地方交付税21億292万円や国庫支出金13億5,375万円、市税8億9,061万円などです。

＝歳出＝

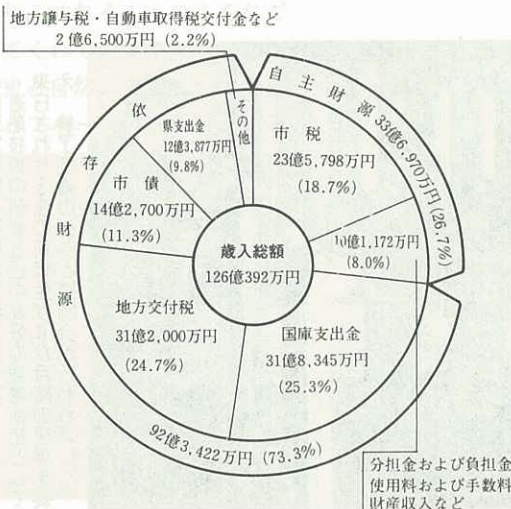
執行率 50.0%

予算現額126億392万円を性質別にみると、扶助費・人件費などの消費的経費が67億353万円（53.2%）、普通建設事業費などの投資的経費47億5,395万円（37.7%）、起債元利償還金など、その他の経費に11億4,644万円（9.1%）となっています。

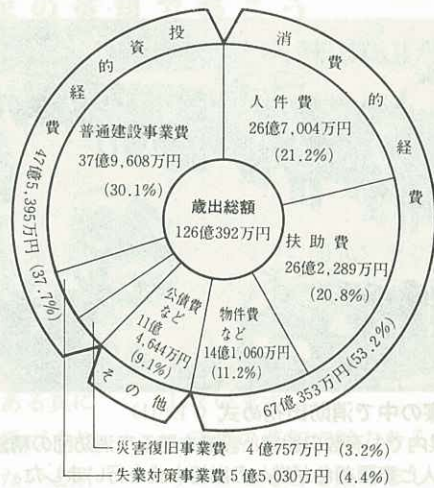
昭和55年度の上半期（4月～9月）までの予算執行状況は、総額63億2,595万円（50%）でこのうち支出済額は48億2,441万円となっており全体の38.3%にあたります。

昭和55年度一般会計予算

財源別の歳入割合















性質別の歳出割合



一般会計予算の使いみち

() の%は支出率

S.55. 9月30日現在

予算額 31億6,454万円 支出額 15億1,303万円 (47.8%)	 民生費	土木費  予算額 20億7,933万円 支出額 6億2,255万円 (29.9%)
予算額 14億7,176万円 支出額 6億3,729万円 (43.3%)	 教育費	農林水産業費  予算額 13億8,692万円 支出額 1億3,298万円 (9.6%)
予算額 12億1,295万円 支出額 6億2,963万円 (51.9%)	 総務費	公債費  予算額 8億9,961万円 支出額 3億9,372万円 (43.8%)
予算額 5億9,852万円 支出額 2億6,574万円 (44.4%)	 労働費	災害復旧費  予算額 4億757万円 支出額 6,139万円 (15.1%)
予算額 5億5,449万円 支出額 2億673万円 (37.3%)	 衛生費	消防費  予算額 4億304万円 支出額 1億6,212万円 (40.2%)
予算額 2億2,942万円 支出額 1億2,364万円 (53.9%)	 商工費	その他  議会費 諸支出金 予算額 1億9,577万円 支出額 7,559万円 (38.6%)

予算総額126億392万円

支出済額48億2,441万円

市有財産



土地
744万3,908
平方メートル



建物
16万9,313
平方メートル



基金
5億4,727万円



有価証券
5,156万円



重要備品
(車両・物品など) 367台(個)

特別会計

予算執行状況 S.55. 9月30日現在

(単位万円)

区分	歳入			歳出		
	予算現額	収入済額	収納率%	予算現額	支出済額	支出率%
簡易水道	21,998	4,591	20.9	21,998	3,536	16.1
国民健康保険	240,437	103,588	43.1	240,437	81,192	33.8
と畜場	929	71	7.7	929	713	76.7
同和地区住宅改修資金貸付	379	52	13.7	379	69	18.4
立花台地開発事業	15,966	4,608	28.9	15,966	1,416	8.7
休日急患医療センター	790	191	24.2	790	350	44.3
合計	280,499	113,101	40.3	280,499	87,276	31.1

20歳になったら国民年金へ加入を

現在わが国では、国民の誰もがいずれかの年金制度に加入しなければならないよう義務づけられています。

会社や工場などに勤務する人は厚生年金に、官公庁に勤める人は共済組合に、船員は船員保

険に、そしてこのどれにもあてはまらない20歳以上59歳までの人はすべて国民年金に加入することになります。

国民年金は老後の生活を支える老齢年金のほか、障害年金や母子年金、遺児年金などを支給してあなたのあすの生活を守ります。

20歳になったのを機会にあなたも国民年金に加入しましょう。



米の料理講座

2月8日に開講

米消費拡大推進連絡協議会と生活改善グループ連絡研究会の主催による「米の料理講座」を次のとおり開きます。

▲日時 2月8日

9時30分～12時

▲場所 中央公民館調理室

▲内容 「共かせぎ主婦のためのお弁当研究」

※参加希望の方は2月6日までに農業改良普及所（☎⑤128）または市農林水産課水田利用推進係（☎③2111内線374）へお申し込みください。

抑留体験者や

遺族の方はご連絡を

全抑協（全国戦後強制抑留補償要求推進協議会＝相澤英之会長）は第2次世界大戦後、ソ連に抑留され過酷な強制労働のため異郷の地で帰らぬ人となった全国で8万人にもものぼるかたがたの遺骨収集と墓参の早期実現を訴え全国的な運動を展開しています。

抑留体験者や遺族の方は全抑協佐賀県連合会（会長＝池田伊之次さん、二里町川東☎③2558）へご連絡ください。

特設人権相談

人権、相続、不動産などの問題について人権擁護委員と法務局員が相談をお受けします。

▲日時 2月17日 10時～17時

▲場所 市役所市民相談室

▲担当 人権擁護委員

小島満義氏

子供映画を上映します

ボランティアサークル「竹の子会」は、小中学生を対象にした映写会を行います。友だちといっしょに見に行きましょう。

▲期日 2月8日（日）

▲時間 午後1時～3時

▲場所 中央公民館

同和教育シリーズNo.13

「同和対策審議会」の答申について

伊万里市同和教育地域推進員

松浦町 原 口

巷 さん



同和教育の抜本的な解決を願って同和対策審議会は昭和40年、その答申を出しましたので私たちの具体的な同和教育の学習に「答申」とか「特措法」とかの言葉が耳にとびこんでくるのは当然で、この内容は同和教育の基本を示し教科書ともいえるべきであろう。

私も数十回の同和教育学習会に参加したが講義や討議の問題になることは答申が示していることばかりである。

①同和教育は日本国憲法に保障する「基本的人権」にかかわる問題でわが国の恥ずべき社会悪であることを強調しており。

②この問題の解決は「国及び地方公共団体の責務」であり「国民的課

題」であるとして責任のありどころを示し。

③また問題をいたずらに放置することなく「すみやかに」「早急に」「焦眉の急を要す」などの言葉を使い一日も早く問題解決への決意と取り組みを促している。

なお「寝た子をおこすな」式の考えでは同和教育は解決しないことも述べており「わが国の長い歴史の中では江戸時代のみならず表現の自由や言論の自由も許されない社会が続いたが、この答申は日本の民主主義を確かなものにするための「法の下の平等」と「人権の尊重」を強調しており日本の歴史にいまだかつてない特筆すべきすばらしいものではないだろうか。

伊商・伊農・有工 定時制高校の生徒を募集

伊万里商業高校、伊万里農林高校、有田工業高校では働きながら学ぶ定時制高校の生徒を次のとおり募集します。

- ▲ 学校と学科
 - 伊万里商業（商業科・夜間制）
 - 伊万里農林（農業科・昼間制）
 - 有田工業（窯業コース、デザインコース・夜間制）
- ▲ 募集定員
各学校（科）とも40名
- ▲ 願書受付期間
 - 1次 2月10日～2月13日
 - 2次 3月25日～4月2日

- ▲ 試験科目
国語・数学・外国語・理科・社会・面接と作文
- ※ 高卒以上の資格をお持ちの方でも職業科目の履習ができます。詳しくは各学校へお問い合わせください。
- 伊万里商業（☎③ 5191）
- 伊万里農林（☎③ 4138）
- 有田工業（☎ 09554 ② 3136）



スポーツ少年団剣道大会

市スポーツ少年団剣道大会が次のとおり行われます。

- ▶ 日時 2月11日 9時開会
- ▶ 場所 国見台武道館

- 次の方からご寄付をいただきました。厚くお礼申しあげます。（敬称略）
社会福祉事業費へ
- ◆ 香典返しを寄付
 - ・ 松尾 積（亡父一真 新天町）
 - ・ 鈴木順子（亡父新吾 木須西）
 - ・ 鳥山 清（亡父安吉 木須西）
 - ・ 大野初雄（亡父三次郎 松浦町中通）
 - ・ 石田千市（亡妻ツネ 木須町）
 - ・ 藤本満東（亡母ヒチ 新天町）
 - ・ 池田博子（亡父次郎 二里町東八）
 - ・ 西 敏雄（亡父勝一 本町三丁目）

ありがとう



ご支援ありがとうございました

- ・ 古藤勝彦（亡父勝太 大川町川原）
- ・ 原口栄人（亡父太七 松浦町上原）
- ・ 浦郷博彌（亡父萬之助 山代町久原三区）
- ・ 大久保徹一（亡母マツエ 大川内町正力坊）
- ・ 岡崎勇磨（亡父万三 松浦町岳坂）
- ・ 浦川清春（亡父嘉次郎 二里町内の馬場）
- ・ 吉永タキ（亡父伊一郎 本町三丁目）
- ・ 山口 晃（亡父鶴次 大川内町福野）
- ・ 松本幸代（亡父文雄 今町）
- ・ 田口 進（亡祖母キヨ 大川町宿）
- ・ 副島英彦（亡母田嶋ツユ 栄町）
- ・ 大串フサ子（亡父勝行 山代町立岩）
- ・ 瀬戸忠志（亡父熊太 東新町下分）
- ・ 松尾ヤチヨ（亡父辰市 松浦町下分）
- ・ 西山栄子（亡父昇 立花台一丁目）
- ・ 松隈正徳（亡母セツ子 堀町）
- ・ 岩政憲市（亡父辰男 瀬戸町中通）
- ・ 五千元 牧野敏昭（東京都）
- ・ 三万円 小島病院職員一同（黒川町）
- ・ 三万円 池田虎夫（東山代町大久保教育振興奨励基金へ）
- ◆ 香典返しを寄付
 - ・ 武藤友平（亡母セキ 東山代町長浜）
 - ・ 藤本満東（亡母ヒチ 新天町）
 - ・ 松尾タツ子（亡父芳郎 東山代町里）
 - ・ 古藤勝彦（亡父勝太 大川町川原）
 - ・ 副島英彦（亡母田嶋ツユ 栄町）
 - ・ 岩政憲市（亡父辰男 瀬戸町中通）
 - 文化振興基金へ
 - ・ 五万円 古川 功（波多津町筒井）
 - ・ 体育振興奨励基金へ
 - ・ 一万円 中島絃一（新天町六五四）
 - ・ 明るい町づくり推進資金へ
 - 【大坪公民館】
 - ・ 二万円 伊万里えびね会
 - 【南波多公民館】
 - ・ 藤田政喜（亡父文雄 南波多町井手野）
 - 【大川公民館】
 - ・ 古藤勝彦（亡父勝太 大川町川原）
 - 【二里公民館】
 - ・ 吉永タキ（亡父伊一郎 本町三丁目）
 - 【山代公民館】
 - ・ 山浦 隆（亡父善次 山代町峰）
 - 【牧島公民館建設資金】
 - ・ 五千元 津上芳三（瀬戸町漁港）
 - 交通遺児救済資金へ
 - ・ 八万八、八二四円 伊万里市農協婦人部（農業祭チャリティバザー益金）
 - ・ 一万円 川東愛球会
 - 伊万里市中心身障害児父母の会へ
 - ・ 山口 晃（亡父鶴次 大川内町福野）
 - 市立図書館へ図書寄贈
 - ・ 伊木貞夫（脇田町）
 - ・ 久保田勇（二里町川東）ぼっちの会
 - 伊万里ライオンズクラブ
 - ・ 久保田有浩（脇田町）
 - ・ 森田一雄（立花台三丁目）
 - ・ 梶山幸雄（立花町東門）
 - ・ 田中達則（立花台三丁目）

こどものページ

手づくりの童話「私たちの本」発刊

国見中の童話クラブ

童話のもつ美しさや夢を求めてメルヘンの世界に浸っているユニークなグループ、国見中学校の童話クラブ（17名）が、このほど手づくりの童話「私たちの本」を作りました。

このクラブは、文化活動として週1回の必修時間に活動を続

けています。みんなは童話にふれ、その中から自分なりの夢を広がらせて創造性を養うため、童話を読んだり身の回りから題材を求め童話づくりに励んでおり、文化祭では紙人形劇を演じて皆さんからたいへん喜ばれました。



▲国見中童話クラブの皆さん

顧問の中島弘子先生は「夢の広がりの中から創造性豊かで、やさしい心を持つ子供に育ててほしい」と話しておられました。「私たちの本」の中から作品1編を紹介します。

「のこちゃんの住んでいる町には、高いビルや大きな工場が多く、緑の木々がとても少ないんです。また空気も悪く、ノドや目を痛める人々が多くとても困っていました。

ある日、のこちゃんがおうちの近くの公園で一人で遊んでいると、突然銀色に光る物体が頭の上をまわっていました。

「あっ、ユーフォーだ。」

「のこちゃんがさげんだ時でした。オレンジ色の光線を放ったかと思うと、のこちゃんは円盤に吸い込まれてしまいました。

しばらくして気がつく、そこはさっきの円盤の中でした。のこちゃんが辺りを見回すと小さなスイッチやこみいった機械といっしょに四本足のへんてこな生き物が自分の方を見ているのに気がきました。

「あなたはだあれ。わたしはのこちゃん。」

「わたしはタムタム星のコウタムといいます。」

「女王様のいいつけでのこちゃんを迎えにきたのです。あっ。ほら、あれがのこちゃんの住んでいる地球ですよ。」

のこちゃんの宇宙旅行



松尾紀子さん

「ウワァー、あんなに小さい。でもへんな色。」

「のこちゃんが言った通り、地球は灰色にかすみ、何かとてもきたなく見えました。

しばらくしてコウタムがのこちゃんを呼びました。

「のこちゃん。ほら、あれがタムタム星ですよ。きれいでしょ。地球も前はあんなふうに、緑でいっぱいだったんですよ。あ、女王様が出迎えていらっしやいますよ。」

「ウワァーきれいだ。」

「のこちゃんが驚いている間に円盤はタムタム星に到着しました。」

「ようこそタムタム星へ。」

女王様のがのこちゃんを迎えました。それからのこちゃんにはタムタム星の人々の盛大な歓迎を受け楽しい一日をすごしました。

楽しい時間はたちまち過ぎ

もう帰る時間です。のこちゃんがお別れに指にはめていたおもちゃの指輪をあげると、女王様は緑色の石をくれました。それは小さくて、丸くて、まるで宝石みたいに見えました。

「のこちゃんをのせた円盤は灰色にかすむ地球へ帰って行きました。コウタムと別れたのこちゃんは緑色の石をにぎりしめ、スキップして家に帰りました。

おとうさんもおかあさんも、タムタム星へ行ったと言う話などかまってくれませんでした。のこちゃんは平気でした。一人でパジャマに着がえてベッドに入りました。

「のこちゃんが眠ってしまつたころ、緑色の小石はパチンとはじけて夜の町に飛びちりました。」

☆ ☆ ☆

「のこちゃんの町がこの後どうなったかって……？ それ

はね、緑でいっぱい美しい町になったんですって……。

タムタム星のみんなも美しく変わる地球を見て喜んでるんじゃないかな……？」

おわり